

# 男の早染め

ミスター パオン セブンエイト  
チューブタイプの白髪染め

## 使用説明書

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

- ヘアカラーやヘアマニキュアなどで染めた髪を、その色より明るく染めかえることは困難です。

使用方法、その他についてご質問がありましたら、お客様相談室まで、お問い合わせください。

お客様相談室

☎0570-032525

受付:土・日・祝日を除く  
10:00~12:00/13:00~17:00

ヘンケルジャパン株式会社  
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8

A.F.A

## 使用上のご注意

### 1. 次の方は使用しないでください

- ①今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ②染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

### 2. 使用前のご注意

- ①染毛の2日前(48時間前)には右記の順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ②頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤染毛の前後1週間はパーマメントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

### 3. 使用時のご注意

- ①薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ②換気のよいところで使用してください。
- ③必ず添付の手袋を着用してください。
- ④染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

### 4. 取り扱い上のご注意

- ①混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

### 5. 保管上のご注意

- ①幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ②高温や直射日光をさけて保管してください。

## 色の選び方(カラーガイド)

7 自然な黒色  
(ナチュラルブラック)

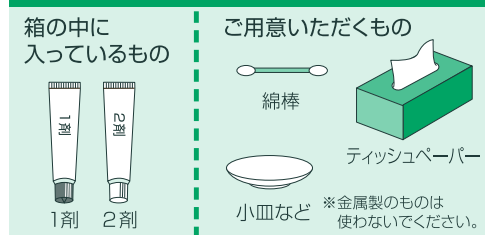
白髪が多くても上品な黒色に染まります。

6 濃い褐色  
(ダークブラウン)

白髪のある髪が落ちついた褐色に染まります。

## 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

### 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)時に必要なもの



染毛の2日前(48時間前)には、毎回必ず行ってください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

- 1 テスト液をつくります。  
(1) 1剤チューブのキャップをはずし、キャップ頭部の突起で、チューブの口に穴をあけます。ごく少量を小皿に出します。  
(2) 2剤を、1剤と同量だけ小皿に出し綿棒で混合します。  
※キャップは1剤と2剤をまちがえないように、それぞれ元のチューブにしっかりとめてください。
- 2 テスト液ができたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。  
●テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。30分くらい放置しても乾かない場合はテスト液のつけすぎですから、余分なテスト液をティッシュペーパーなどで軽く拭き取ってください。  
●テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テスト部位をぬらさないでください。
- 3 そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。
- 4 テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回は必ず行ってください。  
●そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで、直ちに洗い落とし、染毛しないでください。  
●途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落とし、染毛しないでください。  
●かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。
- 5 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。  
※日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

## ご使用前の準備

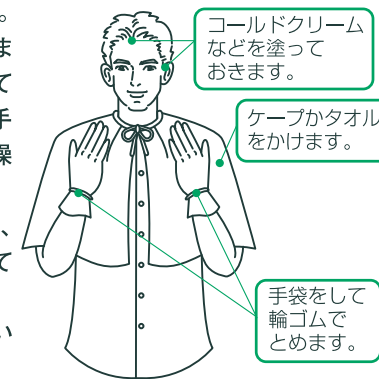
### 髪の状態

- 前洗いの必要はありません。ただし髪の汚れのひどいとき、カラースプレーなどの一時染毛料や多量の整髪料などをご使用のときは、前日に洗髪しておいてください。
- 非酸化染毛剤(マロンマインドカラーなど)で染めた髪には使用しないでください。

### 身じたく

- ※薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。
- 汚れてもかまわない前あきの服装に着替え、首にケープかタオルをかけます。
- 床などが汚れないように新聞紙などを重ねて敷きます。

- 生えざわや耳や首に混合クリームがついて着色するのを防ぐために、コールドクリームなどを塗っておきますと、ついても落としやすく便利です。ただし、コールドクリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。
- 爪も髪と同じように染まりますから、添付の手袋をはめてお使いください。このとき手首を輪ゴムでとめておくと操作しやすくなります。
- メガネ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪は、はずしてください。
- 寒いときは、なるべく暖かい部屋で染めてください。



## 必要なものの準備

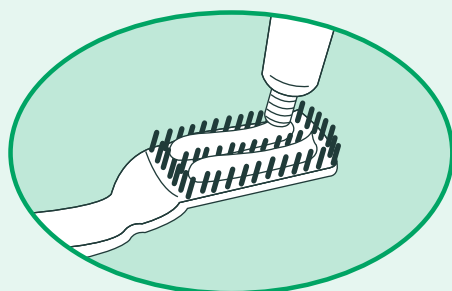


準備ができたら裏面へ

必ず表面もお読みください。

## ご使用方法

# ① 1剤と2剤のクリームを専用ブラシにのせます。



1剤と2剤を、同量ずつ専用ブラシにのせます。

※1剤チューブは皮膚アレルギー試験(パッチテスト)のときにあげてあります。

### 1剤・2剤についてのご注意

※中身の残ったチューブのキャップは、1剤と2剤をまちがえないようにそれぞれ元のチューブにしっかりとしめてください。また、高温の場所をさけて保管してください。

※1剤クリームが、まれに一部分黒色か茶色になることがあります。染毛効果には影響ありません。

# ② クリームを髪に塗ります。

- 乾いた髪に使用してください。
- 整髪料(ヘアリキッド・ポマードなど)をお使いの場合や、汚れのひどいときは、前日までに洗髪しておいてください。

## 1. 白髪が目立つ部分から塗り始めます。

※髪への塗布は、なるべく10分間程度で終わってください。

1) クリームをのせた専用ブラシで白髪が目立つ部分から、1剤と2剤が髪の上でよく混ざるようにとかします。

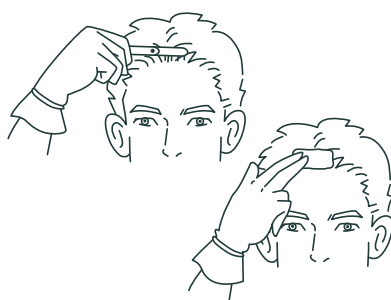
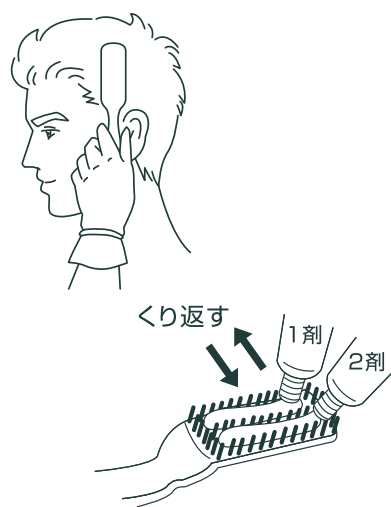
2) 髪の根元部分にもクリームがゆきわたるように、専用ブラシでよく髪をとかしてください。特に白髪が多い部分は、クリームをていねいにたっぷり塗ってください。

髪全体にムラなくつくまで、同じように1剤と2剤を専用ブラシに同量とり、髪に塗布する操作をくり返します。

※専用ブラシで地肌を強くこすらないようにしてください。

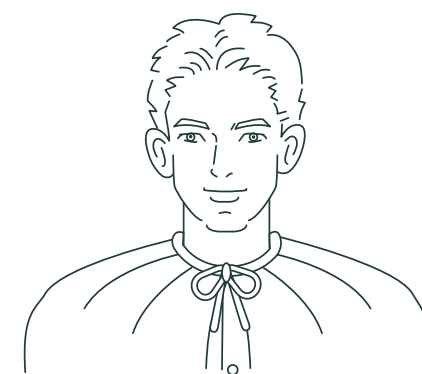
3) はえぎわや根元などは添付の小ブラシで、すでに髪についているクリームをとって塗ります。

※はえぎわや根元が染まりにくいときは、小ブラシでクリームをたっぷり塗ったあとに、ティッシュペーパーやコットンを貼りつけておくとムラなくしっかり染められます。



## 2. そのまま5分間放置します。

- 放置時間によって染め上がりの濃さが調節できます。パッケージ横の色調の目安をご参照ください。
  - しっかり染めたいときは、数分間長めにおいてください。
  - 太くて硬い髪、白髪が多い髪、また室温(標準20~25℃)の低いときはさらに数分間長めにおいてください。
- ※この間を利用して、もう一度塗り残しがないかどうかを確認してください。
- ※塗り残したところにはすぐにクリームを補ってください。



### 染める時のご注意

- ※クリームが顔や皮膚についたときは、すぐに水で湿らせたティッシュペーパーまたはコットンなどで拭き取ってください。時間がたつほど、とれにくくなります。
- ※金属製のヘアピンやクシなどは、熱をもち髪をいためることがありますので、使用しないでください。
- ※クリームが目に入らないよう、特に注意してください。

# ③ 洗い流し、よく乾かします。

- 放置時間がすぎたら、ぬるま湯で十分にすすいでください。シャンプー・リンスをして仕上げます。
- 汚れてもかまわないタオルで拭いてください。



### 洗髪・乾かす時のご注意

- ※洗髪時に洗い液が目に入らないよう、特にご注意ください。
- ※目に入ったときは、すぐに水またはぬるま湯でよく洗い、眼科専門医の診療を受けてください。自分の判断で目薬を使用しないでください。
- ※髪は十分に乾かしてください。半乾きの状態では枕カバー、衣服等に色がつくことがあります。

### 分割して使用される場合

- ※1剤・2剤のキャップは、まちがえないようにそれぞれ元のチューブにしっかりとしめて、高温の場所をさけて保管してください。
- ※専用ブラシ・手袋をぬるま湯でよく洗って保管してください。
- ※2回目からも染毛の前には毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- ※2回目以降のご使用の際、1剤の先端が黒くなっていることがあります。染毛効果には影響ありません。

### 使用後のご注意

- ※再度ブリーチやヘアカラー(ヘアマニキュアを除く)を使用される場合は、髪や地肌への負担を考慮し1週間以上の間隔をおいてからご使用ください。
- ※次のような場合には、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
  - 髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など。)
  - 育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。